



9月になりました。まだまだ暑い日が続いています。

夏休みに、読書をした人もいれば、まったく読書をしなかったという人も、
二学期の「朝読」で、いろんな本にチャレンジしてみましょう！

朝読にオススメ！短編集

- * 1日10分のごほうび
(NHK放送協会)
- * 1日10分のしあわせ
(NHK放送協会)
- * ショートフィルムズ
(ブックショート)
- * 短編工場 (集英社編集部)



本を読むきっかけになる
集中力がついてくる
文章を読む力がつく
考える力がつく

！ ということですが、
自分でも気づかないうちに、
備わってきます。

なかでもオススメは、集英社文庫の「短編工場」です。浅田次郎さん、伊坂幸太郎さん、
石田衣良さん、乙ーさん、宮部みゆきさん、村山由佳さんの短編が一冊に凝縮されています。
短編集の良いところは、一話読み終わるのがはやいこと、一冊で複数の作家の作品が楽しめることです。

まず一話読んでみて、「おもしろかった・感動した・ほかにどんな作品があるのかな？」とおもった人は、
その作者の書いた本を選んで読んでみると良いです。慣れてきたら長編にも挑戦してみましょう。
「おもしろくない・話がすすまない」と思った人は、別の作家の書いた短編を試してみましょう。
学校図書館の本は、借りたり、返したりが自由にできます。自分が読みやすい本を読めば良いです。

二中学校図書館での出来事！

気に入った本をなかなか手にできずにいた生徒、いろんなジャンルの本をオススメしていました。
ある日、その生徒が言った一言！！「オレ、この人の本が好きかも・・・」です。
この言葉はとてうれしい一言です。 やっとお気に入りの本に出会えました。
さらに、その生徒は自分が読んだ本を友だちにオススメしていました。これがきっかけになって
読書の輪が広がると嬉しいです。



- * 一人称単数 (村上春樹)
- * 欲がでました (ヨシタケシンスケ)
- * 七つの魔剣が支配する[6] (宇野 朴人)
- * のび太という生き方 (横山泰行)
- * ピブリア古書堂の事件手帖 扉子と空白の時 (三上延)
- * 夢をかなえるゾウ[4] (水野敬也)
- * レディオワン (齋藤倫)
- * 文豪とアルケミスト 審判の歯車 上巻 (市瀬まゆ)

他にもたくさん入荷していますよ～。

第163回直木賞 第163回芥川賞 第163回芥川賞

「少年と犬」
馳 星周

「破局」
遠野遥

「首里の馬」
高山羽根子

9月の開館日

9/1 (火)～9/4 (金)
9/14 (月)～9/18 (金)
9/29 (火)・9/30 (水)